

九州大学大学院未来共創スクール in 熊本の開催 「デジタル田園都市国家構想とDXによる地方自治体の価値の創造」

九州大学大学院未来共創リーダー育成プログラム（プログラム責任者：松井康浩 比較社会文化研究院研究院長）は、令和5年1月30日（月）に熊本市で、九州大学大学院未来共創スクール in 熊本を開催します。

未来共創スクールとは、九州大学と国、地方自治体、民間企業、他大学等が協働して、短期間のワークショップ等を開催することによって、地方自治体の政策立案・実施・評価に関する人材開発に貢献するものです。また、参加者同士の交流を通じて、新たな価値が共創されるきっかけとなる場を提供します。今回が初めての開催となります。

【開催概要】

- ・日 時：令和5年1月30日（月）13時～17時（受付開始12時30分）
 - ・場 所：くまもと森都心プラザ、第1部：プラザホール、第2部：会議室A・B 合同利用
 - ・参加者：第1部（ハイブリッド形式）は、地方自治体職員、地方議員、大学の学生・教職員、テーマに関心のある一般の方。第2部（対面）は、地方自治体職員のみ。
 - ・定 員：第1部200人（対面）、オンライン参加は定員制限なし、第2部30人（対面）
 - ・主 催：九州大学大学院未来共創リーダー育成プログラム
 - ・後 援：熊本県
 - ・内 容：政府は「デジタル田園都市国家構想」を掲げ、デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図ろうとしています。これに対して、先進的な取り組みをしている地方自治体がある一方で、まだ、どうしたらよいか考えている地方自治体もあるのでないでしょうか。
そこで、未来共創スクール in 熊本 では、第1部で、政策、実務、理論の観点から「デジタル田園都市国家構想」を掘り下げて考えます。
具体的には、政策面から内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局の参事官補佐に、実務面から熊本県企画振興部デジタル戦略推進課の課長に、さらに、理論面から、システム情報科学研究所の池田大輔准教授に話をさせていただきます。
第2部では、地方自治体の立場から、DXをどのように行政や地域の課題解決に役立てるのか、DXを使ってどのような価値を創造するのか、第1部の講演者との意見交換等を通して考えます。
- ・参加申込み：こちらのサイトからお申し込みください。※令和5年1月27日（金）締め切り
<https://gipad.kyushu-u.ac.jp/event/detail.php?nid=49>

【未来共創リーダー育成プログラムについて】

未来共創リーダー育成プログラムは、高度に幅広い専門性から未来社会を構想し、オールラウンドな協働課題解決と決断、政策の立案・設計にあたることのできる研究者および高度専門職業人を養成することを目的とした大学院プログラムです。副専攻型の学府横断的なプログラムで、地球社会統合科学府、工学府、人間環境学府、システム情報科学府、医学系学府、生物資源環境科学府の6学府で実施しています。

【報道関係者の方へ】※取材いただく場合のご案内です

取材をご希望の場合は、下記プログラム推進室宛に社名・職名・氏名・連絡先をご連絡ください。

九州大学大学院未来共創スクール in 熊本

デジタル田園都市国家構想と DXによる地方自治体の価値の創造

令和5年

1/30(月)

13:00-17:00
(受付開始 12:30)

参加
無料

場所

くまもと森都心プラザ

(熊本市西区春日1丁目14番1号、JR熊本駅下車徒歩4分)

第1部:プラザホール 第2部:会議室A・B合同利用

参加者

第1部:地方自治体職員、地方議員、大学の学生・教職員、
テーマに関心のある一般の方

第2部:地方自治体職員の方のみ
第1部200人、第2部30人

[要事前申込]
1/27[金]
まで



申込QRコード

お申し込みは
ウェブサイト <https://gipad.kyushu-u.ac.jp/>
または上記 QR コードから

政府は、「デジタル田園都市国家構想」を掲げ、デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図ろうとしています。これに対して、先進的な取り組みをしている地方自治体がある一方で、まだ、どうしたらよいか考えている地方自治体もあるのではないのでしょうか。そこで、未来共創スクールでは、第1部は、政策、実務、理論の観点から「デジタル田園都市国家構想」を掘り下げて考えます。第2部は、地方自治体の立場から、DXをどのように行政や地域の課題解決に役立てるのか、DXを使ってどのような価値を創造するのか、地方自治体の参加者とともに、グループワークを通して考えます。

時間	内容	講演者等
13:00~13:10	開会の挨拶	
13:10~15:20	第1部/シンポジウム<ハイブリッド形式>	
	<p><政策></p> <p>・デジタル田園都市国家構想について</p>	内閣官房 デジタル田園都市国家構想 実現会議事務局 参事官補佐 菊池 雄太
	<p><実務></p> <p>・熊本県におけるDXの取り組み (県DXグランドデザイン、県内のスマートシティ取組状況、オフィス改革 等)</p>	熊本県企画振興部デジタル戦略推進課 課長 受島 章太郎
	<p><理論></p> <p>・変革の定義と理論的評価について</p>	九州大学大学院システム情報科学研究院 准教授 池田 大輔
15:30~17:00	第2部/ワークショップ<対面形式>	
	<p><共創></p> <p>・DXをどのように行政や地域の課題解決に役立てるのか ・DXを使ってどのような価値を創造するのか</p>	地方自治体の参加者

九州大学大学院未来共創スクールは、九州大学と国、地方自治体、民間企業、他大学等が協働することにより、地方自治体の政策立案・実施・評価に関する人材開発を行います。また、参加者同士の交流を通じて、新たな価値が共創されるきっかけとなる場を提供します。

●主催

GIPAD 未来共創リーダー育成プログラム
Graduate Program of Interdisciplinary Policy Analysis and Design

●後援

熊本県
Kumamoto Prefecture

●問い合わせ先

未来共創リーダー育成プログラム推進室
〒819-0395 福岡市西区元岡744 suishinshitsu@scs.kyushu-u.ac.jp

